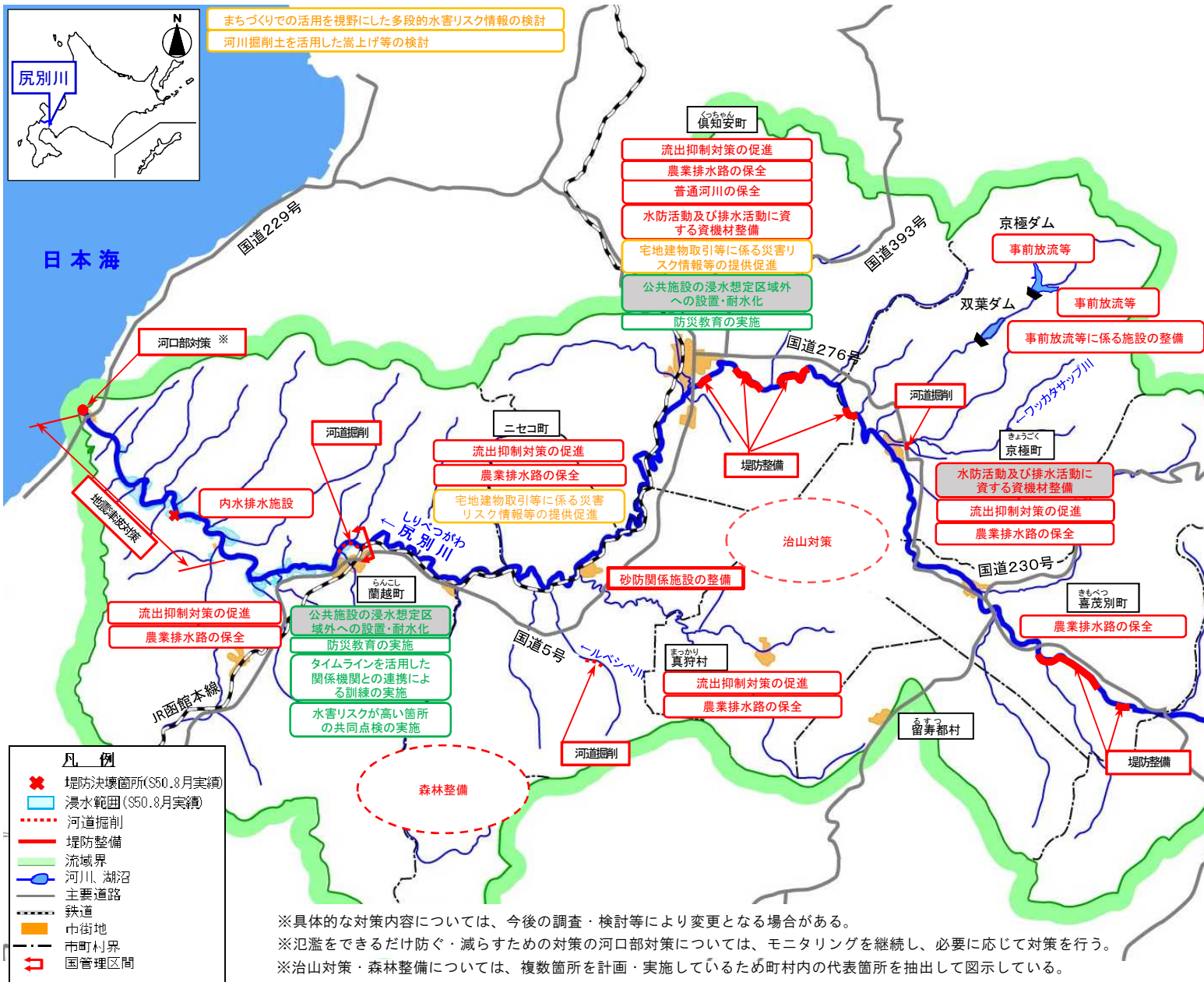


尻別川流域治水プロジェクト【位置図】

～国際リゾート地“ニセコ”観光圏エリアの魅力と暮らしを守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、尻別川水系においても、我が国における有数の国際リゾート地であり、清流尻別川が育む水稻や馬鈴薯等の農産物の一大生産地である尻別川流域の既設農業施設等の治水活用を含む事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、尻別川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和50年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



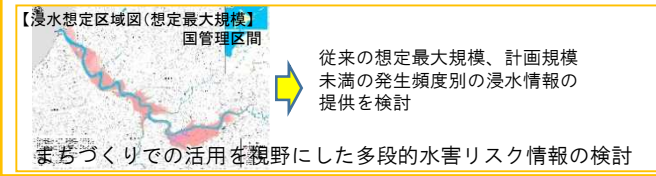
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、河口部対策、地震津波対策
- ・浸水被害防止対策（内水排水施設、普通河川の保全）
- ・水防活動及び排水活動に資する資機材整備
- ・既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、北海道、町、電力会社、土地改良区）
- ・事前放流等に係る施設の整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・森林整備・治山対策
- ・流出抑制対策の促進・農業排水路の保全



■被害対象を減少させるための対策

- ・河川掘削土を活用した嵩上げ等の検討
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段階的水害リスク情報の検討
- ・宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進



■被害の軽減、早期復旧、復興のための対策

- ・公共施設の浸水想定区域外への設置・耐水化
- ・防災教育の実施
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施
- ・水防訓練の実施
- ・水害リスクが高い箇所の共同点検の実施
- ・要配慮者利用施設等における避難確保計画等の作成及び訓練に関する支援・情報共有
- ・水害リスク空白域の解消に向けた取組
- ・防災気象情報の利活用促進



■グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ

尻別川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～国際リゾート地“ニセコ”観光圏エリアの魅力と暮らしを守る治水対策の推進～

- 尻別川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、北海道、町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 【短期】蘭越町市街地等における重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削や地震津波対策を実施。
 【中長期】地震津波対策を引き続き実施し、河口部においては、継続的にモニタリングを行い、河口閉塞等が発生した場合、必要に応じて対策を実施する。
- あわせて、国際的観光地である流域の特徴を踏まえ、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（利水ダム等における事前放流等の実施、体制構築）、流域の雨水貯留機能向上の促進等を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	人口・資産が集中する蘭越町市街地等を守る河道掘削	小樽開発建設部	豊国地区	
	人口・資産が集中する河口部市街地等を守る河口部対策	小樽開発建設部		河口部
	津波遡上区間における人命・資産を守る地震津波対策	小樽開発建設部		
	事前放流等に係る施設の整備	小樽開発建設部	中後志地区	
	尻別川支川域を洪水被害から守る河道掘削及び堤防整備	後志総合振興局		
	水防活動及び排水活動に資する資機材整備	京極町 倶知安町	排水ポンプ整備（京極町）	
	市街地を土砂災害から守る砂防関係施設の整備	後志総合振興局	砂防関連施設の整備（後志総合振興局）	
	森林の水源かん養機能の維持・向上のための森林保全対策	北海道森林管理局 後志総合振興局、町村 森林整備センター等	喜茂別町・倶知安町 （北海道森林管理局）	植栽・間伐などの 森林整備を実施
	山地災害から流域を守る治山対策	北海道森林管理局 後志総合振興局		治山施設等の整備
	河川への急激な雨水流出を抑制する流出抑制対策の促進	後志総合振興局、 蘭越町等		
被害対象を減少させるための対策	河川掘削土を活用した嵩上げ等の検討	小樽開発建設部		
	まちづくりでの活用を視野にした多段階の水害リスク情報の検討	小樽開発建設部		
	宅地建物取引等に係る災害リスク情報等の提供促進	倶知安町等	公共施設の浸水想定区域外への設置・耐水化（倶知安町、蘭越町）	宅地建物取引等に係る災害リスク情報等の提供促進（倶知安町等）
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	公共施設の浸水想定区域外への設置・耐水化	倶知安町等		
	水防訓練の実施	蘭越町		水防訓練の実施（蘭越町）
	タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施	小樽開発建設部、 蘭越町等		
	防災気象情報の利活用促進	札幌管区気象台		
グリーンインフラの取り組み	生物の生息・生育環境の保全	小樽開発建設部 後志総合振興局		
	賑わいの創出検討・地域活性化	小樽開発建設部		
	田んぼダムの貯留機能保全	倶知安町等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業費】

■事業規模
 河川対策（約5.2億円）
 対策内容 河道掘削、堤防整備、
 河口部対策、
 地震津波対策等

砂防対策（約3億円）
 対策内容 砂防関係施設の整備等

※1：国・北海道の河川整備計画等の残事業費を記載
 ※2：北海道の砂防の残事業費を記載

※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための河口部対策については、モニタリングを継続し、必要に応じて対策を行う。
 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

尻別川流域治水プロジェクト【位置図】

～国際リゾート地“ニセコ”観光圏エリアの魅力と暮らしを守る治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『治水事業と調和した豊かな河川環境の保全・創出』

○尻別川は国土交通省が毎年公表している一級河川の水質現況において、水質が最も良好な河川に平成11年度以降で累計19回選出されている日本有数の清流であり、また流域7町村では、尻別川流域の環境保全のための理念や自治体・住民・事業者の責務を示した「町村の河川環境の保全に関する条例（通称「尻別川統一条例」）」を制定しており、地域住民の環境意識が高い地域である。

○尻別川水系において、魚類や鳥類等の生息・生育・繁殖の場となっている河畔林や水辺環境の保全に向けて、今後概ね10年間で河川環境に配慮した河道整備を実施するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生育・生息環境、河川景観の保全

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
・河川空間を活用した賑わい創出の検討、地域活性化
・地域住民・関係機関と連携した河川環境学習等の取組



【全域に係る取組】
・河川美化活動
・サケ・サクラマス、アユ、ヤツメウナギ等の生息環境等調査の継続
・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る（かわたびほっかいどう）
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援

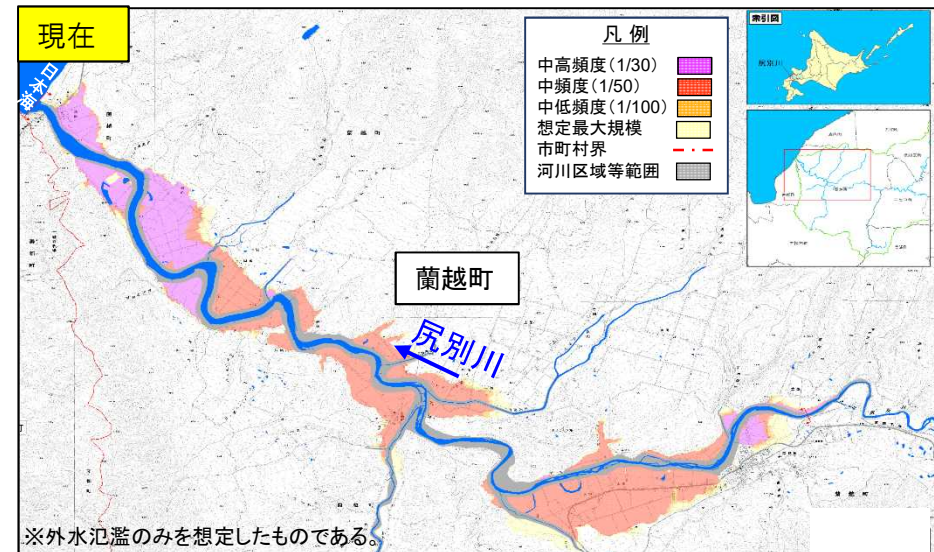
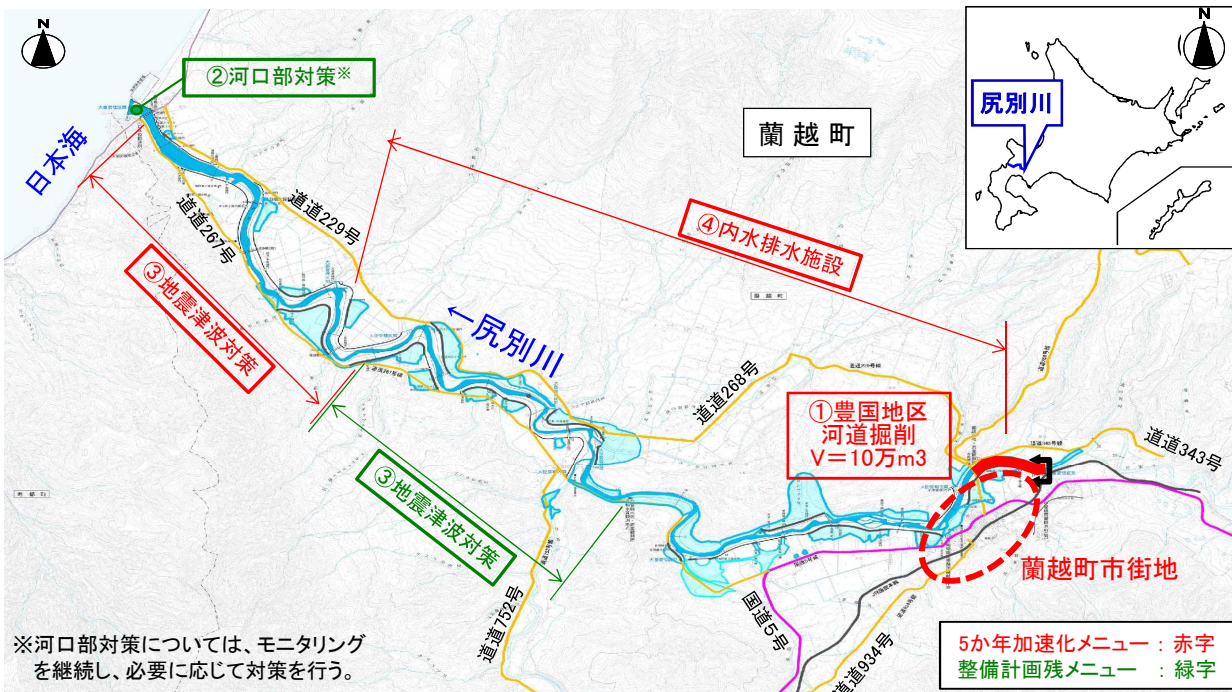
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

尻別川流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～国際リゾート地“ニセコ”観光圏エリアの魅力と暮らしを守る治水対策の推進～

○豊国地区の河道掘削のR6完了にともない、S50.8洪水規模の洪水でも蘭越町市街地区間をHWL以下で流下させることができ、市街地の浸水被害解消が可能。

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約55%→約78%



区分	対策内容	区間	工程	
			【5か年加速化対策】 短期 (R3~R7) 1/15→1/30	中長期 (R8~R10) 1/30→1/30
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削 80%→100%	①豊国地区	R3 100%	豊国地区の河道掘削が完了し、 蘭越町市街地の中高頻度浸水解消
	河口部対策 0%→100%	②河口部	100%	
	地震津波対策	③KP14.2付近まで	50%	100%
	内水排水施設	④KP6.35~KP22.2	100%	

【短期整備完了時の進捗】
 ①豊国地区 河道掘削 100%
 ③地震津波対策 50%
 ④内水排水施設 100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
 ※治水安全度は、各期間の改修予定区間で評価している。

注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

尻別川流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～国際リゾート地“ニセコ”観光圏エリアの魅力と暮らしを守る治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：78%
（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用




5市町村
（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設
（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 **8箇所**
（令和3年度実施分）
砂防関連施設の整備箇所 **0施設**
（令和3年度実施分）

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村
（令和3年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 **3河川**
（令和3年12月末時点）
内水浸水想定区域 **0団体**
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 **25施設**
土砂 **0施設**
（令和3年9月末時点）
個別避難計画 **1市町村**
（令和4年1月1日時点）

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

水防活動及び排水活動に資する資機材整備 （京極町）



京極町では、排水ポンプを6台購入し、現地の釜場に配備済み。R3年度には、試運転も実施している。

被害対象を減少させるための対策

河川掘削土を活用した嵩上げ等の検討 （小樽開発建設部、蘭越町）



水害リスクがある地区の浸水被害軽減に向けて、河道掘削土を有効活用した、土地嵩上げ等の検討・調整を進めている。
土地改良事業と合わせて農地の嵩上げや、嵩上げた土地の避難ヤードへの活用なども検討中であり、浸水被害軽減が期待できる。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

公共施設の浸水想定区域外への設置・耐水化 （倶知安町）



- ・会議室（防災対策本部）、防災放送室等を2階、自家発電室を3階とし防災機能を確保
- ・浸水対策として、出入口に防水板を設置



倶知安町役場新庁舎は、R3年度完成している。、災害時に防災活動の拠点として機能するよう、建物を耐震基準の1.5倍の強度とし、尻別川の氾濫による浸水があった場合でも機能できるように、防災機能を2階以上に設置している。